

昭和57年度業績目録

著 書

口腔生理学教室

野村浩道：Oral Physiology. 日本医事新報社（東京）1982.（4月）

口腔生化学教室

原田 実（共著）：生化学（歯科衛生士教本）。医歯薬出版（東京）1983.（3月）

口腔細菌学教室

中村 武（共訳）：口腔疾患の免疫学。訳者代表 鷹森健志郎，広川書院（東京）1982.（6月）

口腔病理学教室

枝 重夫（編著）：健康のための医学百科。平凡社（東京）1982.（9月）

歯科理工学教室

高橋重雄（共著）：修復学 イヤーブック1982. 和久本貞雄編，クインテッセンス出版（東京）1982.（10月）

高橋重雄（共著）：歯科理工学（第2版第1刷）。歯科理工学会編集，医歯薬出版（東京）1982.（5月）

口腔衛生学教室

近藤 武（分担執筆）：カラーアトラス歯科臨床講座3。医歯薬出版（東京）1982.（9月）

歯科保存学教室第II

安田英一（共著）：歯内治療学。医歯薬出版（東京）1982.（4月）

高橋健史（共著）：歯内療法学イヤーブック1982. 長田 保編，クインテッセンス（東京）1983.（3月）

歯科補綴学教室第I

橋本京一（訳）：マクラッケン・パーシャルデンチャー。医歯薬出版（東京）1982.（7月）

橋本京一，吉田勝弘（分担執筆）：パーシャルデンチャーテクニック。医歯薬出版（東京）1982.（6月）

口腔外科学教室第I

千野武広（分担執筆）：カラー・アトラス歯科臨床講座3。医歯薬出版（東京）1982.（9月）

千野武広（分担執筆）：歯科臨床の実際 第5編，口腔外科学・臨床検査法。文京書院（東京）1982.（11月）

口腔外科学教室第II

待田順治（分担執筆）：口蓋裂，その基礎と臨床。宮崎 正編，医歯薬出版（東京）1982.（7月）

待田順治（分担執筆）：歯科臨床の実際 第5編，口腔外科学・臨床検査法。林 進武ら編，文京書院（東京）1982.（11月）

山岡 稔（分担執筆）：口蓋裂，その基礎と臨床。宮崎 正編，医歯薬出版（東京）1982.（7月）

山岡 稔（分担執筆）：歯科臨床の実際 第5編，口腔外科学・臨床検査法。林 進武ら編，文京書院（東京）1982.（11月）

歯科矯正学教室

出口敏雄，松田泰明（分担執筆）：矯正学イヤーブック1982. 三浦不二夫編，クインテッセンス（東京）1982.

出口敏雄（共著）：矯正学イヤーブック1982. 三浦不二夫編，クインテッセンス（東京）1982.

小児歯科学教室

今西孝博（共訳）：歯科診療における小児の取り扱い。Wright. G. Z. 著，国際医書出版（東京）1982.（3月）

今西孝博：むしばちゃんをやっつけろ—子どもの健康を考える絵本・1。偕成社（東京）1982.（5月）

今西孝博：むしばくんにはまけないよ—子どもの健康を考える絵本・2。偕成社（東京）1982.（5月）

障害者歯科学教室

笠原 浩（共著）：病院と地域医療（初版）。地域医療研究会編，古橋書店（東京）1982.（1月）

笠原 浩(共訳)(Wright, G. Z. 著) : 歯科診療における小児の取扱い(初版). 上原 進監訳, 国際医書出版(東京)1982.(3月)

論文発表

口腔解剖学教室第 I

恩田千爾, 正木岳馬 : 下顎骨にみられる外側舌側孔の数と大きさ. 松本歯学, 8(2) : 210—220, 1982.

口腔解剖学教室第 II

村松 力, 大口弘和, 荒木信清, 佐原紀行, 鈴木和夫 : ハイドロキシアパタイト溶射骨内インプラントの組織学的観察. 松本歯学, 8(1) : 8—14, 1982.

村松 力 : 骨内インプラント周囲結合組織の組織学的研究—Peri-implant membraneの構造について—. 松本歯学, 8(2) : 197—209, 1982.

Suzuki, K., Yoshizawa, H., Yoshihara, M., Sasayama, Y. and Oguro, C. : Ultrastructural studies on the ultimobranchial glands in some lower tetrapods. In Comparative Endocrinology of calcium Regulation, ed. by Oguro, C. and Pang, P. K. T., Japan Scientific Societies Press, Tokyo, 1982, p. 115—119.

大口弘和 : 骨膜下インプラントの組織学およびX線マイクロアナライザーによる研究 酸化アルミナ溶射インプラントとメタルインプラントの周囲組織の比較. 愛知学院大学歯学会誌, 21(1) : 1—16, 1983.

口腔生理学教室

Suzuki, T. : An electrophysiological study of isolated postganglionic sympathetic fibers to hamster submandibular gland. Bull. Tokyo dent. Coll. 23 : 165—174, 1982.

Nomura, H. and Kumai, T. : A specific chemoreceptor to the linguo-hypoglossal chemoreflex of the frog. Jpn. J. Physiol. 32 : 683—687, 1982.

Asanuma, N. and Nomura, H. : Histochemical localization of adenylate cyclase and phosphodiesterase activities in the foliate papillae of

the rabbit. II. Chemical Senses, 7 : 1—9, 1982.

Nomura, H. and Asanuma, N. : Histochemical localization of adenylate cyclase activity in some mammalian taste papillae. Chemical Senses, 7 : 71—80, 1982.

野村浩道, 浅沼直和, 平川良勝 : ウサギ葉状乳頭のアデニレートシクラーゼ及びホスフォジエステラーゼ=I 活性の生化学的研究. 味と匂のシンポジウム発表論文集, 16 : 41—44, 1982.

野村浩道, 浅沼直和 : ウサギ葉状乳頭のアデニレートシクラーゼおよびグアニレートシクラーゼ活性の分布. 昭和57年度文部省科学研究費補助金総合研究(A)「化学受容の分子的識別機構」研究成果報告集 : 29—33, 1982.

口腔生化学教室

Fukasawa, K., Hiraoka, B. Y., Fukasawa, K. M. and Harada, M. : Arylamidase activities specific for proline, tyrosine, and basic amino acid residues in some oral bacteria. J. Dent. Res., 61(6) : 818—820, 1982.

Harada, M., Fukasawa, K. M., Fukasawa, K. and Nagatsu, T. : Inhibitory action of proline-containing peptides on Xaa-Pro-dipeptidylaminopeptidase. Biochim. Biophys. Acta, 705 : 288—290, 1982.

Fukasawa, K., Harada, M., Komatsu, M., Yamaoka, M., Urade, M., Shirasuna, K. and Miyazaki T. : Serum dipeptidyl peptidase (DPP) IV activities in oral cancer patients. Int. J. Oral Surg., 11 : 246—250, 1982.

原田 実 : ジペプチジルペプチダーゼ. 蛋白質核酸 酵素, 27 : 2037—2053, 1982.

口腔細菌学教室

谷口裕朗, 藤村節夫, 中村 武 : 口腔内 Bacteroides sp.の産生するムコ多糖体分解酵素, 特にヘパリナーゼについて. 松本歯学, 8(1) : 15—22, 1982.

小幡直樹 : 口腔内 Bacteroides melaninogenicus の bacteriocin に関する研究. 歯科学報, 82(12) : 1669—1686, 1982.

山崎宣夫 : 口腔内 Staphylococcus aureus のバクテリオシンに関する研究. 歯科学報, 82(12) :

1669—1686, 1982.

Fujimura, S., Ko, L. H., Pulverer, G. and Jelszewicz, J.: Hemolysin of *Propionibacterium avidum*. Z bl Bakt. Hyg., I. Abt. Orig. A 252, 108—115, 1982.

Nakamura, T., Taniguchi, H., Takeuchi, K., Kiuchi, N. and Fujimura, S.: Purification and properties of hyaluronidase (EC 4, 2. 2. 1) from an oral strain of *Propionibacterium acnes*. Matsumoto Shigaku, 8(2): 211—230, 1982.

Nakamura, T., Yamazaki, N., Taniguchi, H. and Fujimura, S.: Production, purification and properties of a bacteriocin from *Staphylococcus aureus* isolated from saliva. Infect. Immun. 39(2): 609—614, 1983.

口腔病理学教室

山崎 正, 吉沢邦一, 田中 寿, 倉科憲治, 武田 進, 小谷 朗, 枝 重夫: 顎骨の硬組織形成線維腫に関する病理組織学的考察. 日口外誌, 28(7): 1097—1105, 1982.

赤羽章司, 枝 重夫, 川上敏行, 中村千仁, 河住 信: 硬化象牙質に関する電子顕微鏡的研究第2報 歯冠硬化象牙質の細管内沈着物と歯石および唾石との比較. 松本歯学, 8(1): 23—50, 1982.

伊地知 明, 山岡 稔, 中島和敏, 河住 信, 中村千仁: 口腔内に発生した脂肪腫の2症例. 松本歯学, 8(1): 114—120, 1982.

河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 井手口英章, 山崎安一: 特異な嚢胞様構造を呈した Ameloblastoma の1症例. 松本歯学, 8(1): 132—138, 1982.

林 俊子, 中村千仁, 河住 信, 川上敏行, 植田章夫, 米山清志, 鹿毛俊孝, 千野武広: 大きな実質嚢胞を形成したエナメル上皮線維腫の1症例—光学顕微鏡ならびに電子顕微鏡の観察—. 日口外誌, 28(1): 1927—1932, 1982.

長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 植田章夫, 矢ヶ崎 崇, 伊藤恒夫, 北村 豊, 加藤倉三: Epulis Osteofibromatosa Cementoplastica(セメント質形成性骨線維腫性エプーリス)の1症例. 松本歯学, 8(2): 237—242, 1982.

歯科薬理学教室

前橋 浩, 山口由理子, 都筑新太郎: ヒ素化合物のラット赤血球への移行. 松本歯学, 8(1): 51—55, 1982.

倉橋 寿, 山口由理子, 都筑新太郎, 前橋 浩: 天然甘味料 Stevioside の一般薬理試験. 松本歯学, 8(1): 56—62, 1982.

歯科理工学教室

伊藤充雄, 中田幸一, 高橋重雄: 続・ノンプリシラス陶材焼付合金の陶材焼付強さをテストする—その陶材焼付境界の構造—. DE, 61: 22—23, 1982.

杉江玄嗣, 石井和生, 永沢 栄, 伊藤充雄, 高橋重雄: セミプリシラス陶材焼付合金の陶材焼付強さをテストする. DE, 63: 20—27, 1982.

口腔衛生学教室

近藤 武, 笠原 香: 3歳児のむし歯保有率とその受療の実態. 日本公衛誌, 29(5): 227—231, 1982.

近藤 武: 歯牙酸蝕症とは. 信州産衛誌, 1(1): 10—11, 1982.

近藤 武: 新時代に入る保存修復学への疑問. 歯界展望, 61(1): 73—76, 1983.

笠原 香, 近藤 武: "ポナールキット-F"を用いた尿中フッ素測定法について. 口衛会誌, 32(5): 489—492, 1983.

歯科保存学教室第 I

太田紀雄, 岸本 真, 横地英男, 春木達弥: 歯肉炎および辺縁性歯周炎に対するバスター剤「アセスA」の二重盲検法による薬効評価. 日歯周誌, 24(3): 490—515, 1982.

太田紀雄, 秋田有一, 平林秀俊: 歯周疾患に対する塩化リゾチーム含有歯磨剤「デンテックブラッシングクリーム」の臨床効果. 日歯周誌, 25(1): 254—264, 1983.

歯科補綴学教室第 I

橋本京一, 鷹股哲也: Moiré Topography は歯学の分野でどのように利用されつつあるか. 松本歯学, 8(1): 1—7, 1982.

歯科補綴学教室第II

千野武広, 吉田潤一郎, 植田章夫, 北村 豊, 鹿毛俊孝, 副島敏彦, 天野秀雄: 強度なるオトガイ唇溝陥凹の治療例. 日口外誌, 29(2): 322-326, 1983.

口腔外科学教室第I

橋口緯徳, 山本真也, 汲田 健, 吉田潤一郎, 有賀 功, 矢ヶ崎 崇: 交通事故による歯牙外傷に対する前歯部修復の3例. 松本歯学, 8(1): 121-131, 1982.

橋口緯徳, 神津 英, 伊比 篤, 松井啓至, 米山清志, 山西一郎, 原 俊: 歯牙外傷に対する前歯部修復の2例. 松本歯学, 8(1): 127-131, 1982.

林 俊子, 中村千仁, 河住 信, 川上敏行, 植田章夫, 米山清志, 鹿毛俊孝, 千野武広: 大きな実質嚢胞を形成したエナメル上皮線維腫の1症例—光学顕微鏡ならびに電子顕微鏡的観察—. 日口外誌, 28(11): 1927-1934.

長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 植田章夫, 矢ヶ崎 崇, 北村 豊, 加藤倉三: 印ulis Osteofibromatosa Cementoplastica (セメント質形成性骨線維腫性エプーリス)の1症例. 松本歯学, 8(2): 237-242, 1982.

口腔外科学教室第II

伊地知 明, 山岡 稔, 中島和敏: 口腔内に発生した脂肪腫の2症例. 松本歯学, 8(1): 114-120, 1982.

Fukasawa, K., Harada, M., Komatsu, M., Yamaoka, M., Urade, M., Shirasuna, K. and Miyazaki, T.: Serum dipeptidyl peptidase (DDP) IV activities in oral cancer patients. Int. J. Oral Surg., 11(4): 246-250, 1982.

林 清広, 山岡 稔, 古沢清文: 外胚葉異形成症の1症例—歯冠幅経からみた遺伝性の検討について—. 松本歯学, 8(2): 231-236, 1982.

梶山加綱, 広瀬伊佐夫, 小谷芳人, 城 茂治, 広田康晃, 松田 茂, 清光義隆, 松浦英夫, 林 清広, 井手口英章, 待田順治: Siver's syndromeの患者にみた術後高ミオグロビン尿症の1例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 10(3): 290-298, 1982.

歯科矯正学教室

松田泰明: 骨格性下顎前突の外科矯正—Symphysisの形態と下顎前歯の位置決定について—. 日矯歯誌, 41(1): 109-116, 1982.

出口敏雄, 寺町好平: 矯正治療計画システムへのオクルゾグラムの紹介. 日矯歯誌, 41(2): 283-290, 1982.

出口敏雄: FH-SN angleおよびANB angleの補正について. 日矯歯誌, 41(4): 757-764, 1982.

吉川仁育, 丹羽敏勝, 松田泰明, 松井啓至: Anchorage lossによる上顎第1大臼歯の抜歯症例. 近東矯歯誌, 17(1): 39-45, 1982.

歯科放射線学教室

長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 植田章夫, 矢ヶ崎 崇, 伊藤恒夫, 北村 豊, 加藤倉三: Epulis Osteofibromatosa Cementoplastica (セメント質形成性骨線維腫性エプーリス)の1症例. 松本歯学, 8(2): 237-242, 1982.

小児歯科学教室

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(1)歯冠修復における乳歯齲蝕の特徴. Dental Diamond, 7(1): 44-45, 1982.

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(2)治療計画と基本的な考え方. Dental Diamond, 7(2): 44-45, 1982.

今西孝博: 幼若永久歯の齲蝕予防. 歯界展望, 59(2): 225-230, 1982.

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(3)小児患者の取り扱い. Dental Diamond, 7(3): 44-45, 1982.

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(4)窩洞形成の基礎. Dental Diamond, 7(4): 44-45, 1982.

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(5)乳歯アマルガム充填のポイント. Dental Diamond, 7(5): 42-43, 1982.

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(6)乳前歯修復のポイント. Dental Diamond, 7(6): 40-41, 1981.

今西孝博: 乳歯の歯冠修復(7)乳歯既製冠の応用. Dental Diamond, 7(7): 40-41, 1982.

Imanishi, T.: Pedodontics. Dentistry in Japan 1981-1982. Japanese Association for Dental Science, 1982.

障害者歯科学教室

笠原 浩：障害者歯科学の意義。日本歯科評論，(481)：10—11，1982。

笠原 浩：カナダ，アメリカ，障害者歯科の旅。日本歯科評論，(482)：191—199，1982。

笠原 浩：障害者歯科医療の現状と展望。医学評論，(70)：15—19，1982。

笠原 浩：障害者のX線撮影。歯科ジャーナル，15(1)：37—46，1982。

笠原 浩：歯を見直そう。みんなのねがい，(161)：16—19，1982。

笠原 浩：地域医療を考える(上)——障害者こそプライマリー・ケアを——。歯界展望，59(1)：161—167，1982。

笠原 浩：地域医療を考える(下)——ホスピタル・デンティストリーの位置づけ——。歯界展望，59(2)：345—351，1982。

渡辺達夫：笑気吸入鎮静法による小児の鎮静効果に関する研究

第1編 笑気吸入下における鎮静状態の内部行動変化

第2編 笑気吸入下における浸潤麻酔時の外部行動変化

第3編 笑気吸入下における浸潤麻酔時の内部行動変化

愛知学院大学歯学会誌，20(2)：1—49，1982。

陶材センター

橋口緯徳，長野朱実，伊比 篤，汲田 健：口腔内の色彩に関する研究 第6報 Micro-Color-Computer受光器改良と陶歯の色(1)VITA—LUMIN。松本歯学，8(1)：77—86，1982。

橋口緯徳，伊比 篤，汲田 健，長野朱実：口腔内の色彩に関する研究 第7報 Micro-Color-Computerによる陶歯の色(2)TRUBYTE—BIOFORM，SHOFU—REAL陶歯。松本歯学，8(1)：87—99，1982。

橋口緯徳，神津 瑛，田村 睦，山本真也，坂口賢司，伊比 篤：口腔内の色彩に関する研究 第8報 歯牙におけるMicro-Color-Computerと肉眼的測定値との比較。松本歯学，8(1)：100—107，1982。

橋口緯徳，山本真也，汲田 健，吉田潤一郎，有賀 功，矢ヶ崎 崇：交通事故による歯牙外傷

に対する前歯部修復の3例。松本歯学，8(1)：121—126，1982。

橋口緯徳，神津 瑛，伊比 篤，松井啓至，米山清志，山西一郎，原 俊：歯牙外傷に対する前歯部修復の2例。松本歯学，8(1)：127—131，1982。

橋口緯徳：歯牙における色彩の科学(総説)。松本歯学，8(2)：171—196，1982。

橋口緯徳：伊那行。歯科ペンクラブ雑誌，21(253)：10—11，(254)：36—39，(256)：42—44，22(258)：41—43，(260)：38—39，1982。

電子顕微鏡室

赤羽章司，枝 重夫，川上敏行，中村千仁，河住 信：硬化象牙質に関する電子顕微鏡的研究(第2報) 歯冠硬化象牙質の細管内沈着物と歯石および唾石との比較。松本歯学，8(1)：23—50，1982。

川原一祐，青木京子，赤羽章司，松島松翠，阿部栄四郎，鈴木 彰，浅沼信治，佐々木喜一郎，黒沢和雄，島崎邦夫，石井善一郎，西垣敬明：神経伝達阻害時における筋紡錘の電顕的研究。松本歯科大学紀要，11：84—92，1982。

衛生学院

谷内秀寿，坂口賢司，橋口緯徳：歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第4報 技術力と技能力の経年的観察(I)。日本歯科技工士学会会誌，3(1)：68—73，1982。

丸山寛子，小林美樹，清水みや子，谷内秀寿，坂口賢司，橋口緯徳：歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第5報 松本歯科大学衛生学院生徒のCPI年度的推移とYG性格検査について。松本歯学，8(1)：63—69，1982。

谷内秀寿，丸山寛子，宮川 崇，坂口賢司，橋口緯徳：歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第6報 技術，技能力，人格検査および専門教育学力との比較。松本歯学，8(1)：70—76，1982。

学会発表**口腔解剖学教室第I**

日本解剖学会(第87回)昭和57年4月
下顎骨にみられる外側舌側孔と臼後孔の数と大き

さについて：恩田千爾，峯村隆一，正木岳馬（解剖誌，57(4)：278，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
下顎大臼歯にみられる歯頸部ほうろう（エナメル）突起について：恩田千爾，峯村隆一，小沼敬三（松本歯学，8(1)：141，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
歯根の圧扁度と歯髓腔の形態：恩田千爾，正木岳馬（松本歯学，8(1)：141—142，1982）

日本解剖学会中部地方会（第42回）昭和57年9月

歯根の圧扁度と歯髓腔の形態について：正木岳馬，恩田千爾

歯科基礎医学会総会（第24回）昭和57年10月
下顎大臼歯にみられる歯頸部ほうろう（エナメル）突起：恩田千爾，峯村隆一（歯基礎誌24(抄録集)：111，1982）

東京歯科大学学会総会（第217回）昭和57年11月
歯牙根管の解剖学的研究1．上顎前歯：正木岳馬（歯科学報，82(1)：1595—1596，1982）

東京歯科大学学会総会（第217回）昭和57年11月
歯牙根管の解剖学的研究2．下顎前歯：正木岳馬（歯科学報，82(1)：1596—1597，1982）

松本歯科大学学会総会（第15回）昭和57年11月
下顎大臼歯の歯頸部ほうろう（エナメル）突起と歯槽部の吸収：恩田千爾，峯村隆一，都筑文男（松本歯学，8(2)：256—257，1982）

口腔解剖学教室第II

日本解剖学会総会（第87回）昭和57年4月
睾丸性女性化症マウス顎下腺の形態：松浦幸子，佐原紀行，鈴木和夫（解剖学雑誌，57(4)：249，1982）

日本解剖学会総会（第87回）昭和57年4月
免疫組織化学によるラット唾液腺のDPP IVの局在について：佐原紀行，深沢勝彦，鈴木和夫（解剖学雑誌，57(4)：249，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
DPP IVの局在部位から考えられるその生体内機能について 電顕免疫組織化学的方法を用いて：佐原紀行，鈴木和夫，深沢勝彦（松本歯学，8(1)：143，1982）

日本比較内分泌学会大会（第7回）昭和57年7月
シマヘビにおける副甲状腺ホルモン投与の効果：吉原正義，内山実，村上俊樹，吉沢英樹，小黒千

足（講演要旨集 p.1）

日本比較内分泌学会大会（第7回）昭和57年7月
イモリの鰓後腺の微細構造：吉沢英樹，鈴木和夫，吉原正義，笹山雄一，小黒千足（講演要旨集 p.2）

日本解剖学会中部地方会（第42回）昭和57年9月
消化器系におけるDPP IVの局在とその動きについて：佐原紀行，鈴木和夫，深沢勝彦（解剖学雑誌，58(2)：102，1982）

歯科基礎医学会総会（第24回）昭和57年10月
睾丸性女性化症マウス（Tfm/Y）顎下腺の発育分化：松浦幸子，佐原紀行，鈴木和夫（歯科基礎医学会雑誌，24(抄録集)：227，1982）

歯科基礎医学会総会（第24回）昭和57年10月
無尾・有尾両生類の鰓後腺の微細構造：吉沢英樹，鈴木和夫（歯科基礎医学会雑誌，24(抄録集)：127，1982）

歯科基礎医学会総会（第24回）昭和57年10月
ラット顎下腺細胞の生後分化について免疫細胞化学的研究：佐原紀行，鈴木和夫，深沢勝彦（歯科基礎医学会雑誌，24(抄録集)：324，1982）

日本動物学会（第53回）昭和57年11月
睾丸性女性化症（Tfm/Y）マウス顎下腺の形態：松浦幸子，佐原紀行，鈴木和夫（動物学雑誌，91(4)：622，1982）

日本動物学会（第53回）昭和57年11月
副甲状腺ホルモン投与後のシマヘビの血漿カルシウムおよび無機リン濃度：吉原正義，内山実，村上俊樹，吉沢英樹，小黒千足（動物学雑誌，91(4)：527，1982）

日本動物学会（第53回）昭和57年11月
ウミヘビの鰓後腺の微細構造：吉沢英樹，鈴木和夫，吉原正義，笹山雄一，小黒千足（動物学雑誌，91(4)：555，1982）

日本動物学会（第53回）昭和57年11月
日本サンショウウオ数種の皮膚感覚器について：南部久男，吉沢英樹，鈴木和夫（動物学雑誌，91(4)：662，1982）

松本歯科大学学会総会（第15回）昭和57年11月
ラット顎下腺のAcinar cellの生後分化について：佐原紀行，鈴木和夫，深沢勝彦（松本歯学，8(2)：257，1982）

118th Midwinter Meeting, February, 20—23, 1983. The Hydroxylapatite Coated Blade Vent Implant : K. Suzuki and A. Miyahara, (Review,

75(1), Program, 1982)

口腔生理学教室

日本生理学会大会(第59回)昭和57年4月
ATPase in rabbit foliate papilla: Y. Hirakawa
and H. Nomura (日本生理誌, 44: 435)

日本生理学会大会(第59回)昭和57年4月
Comparison of linguo-hypoglossal and linguo-
trigeminal reflexes in the frog: H. Nomura
and T. Kumai (日本生理誌, 44: 437)

日本生理学会大会(第59回)昭和57年4月
Electromyogram of jaw and tongue muscles
produced reflexly by mechanical and chemical
stimulation on the oral mucosa and the tongue
in the frog: T. Kumai and H. Nomura (日本生
理誌, 44: 438)

日本生理学会大会(第59回)昭和57年4月
Actions of intracellularly injected Ca^{2+} and
EGTA of the submandibular ganglion cells: T.
Suzuki (日本生理誌, 44: 476)

松本歯科大学学会例会(第14回)昭和57年6月
ハムスター顎下腺を支配する交感神経節後ニュー
ロンに関する電気生理学的研究: 鈴木 隆(松本
歯学, 8: 144-145)

松本歯科大学学会例会(第14回)昭和57年6月
ハムスター顎下神経節細胞にみられる律動性過分
極電位の発現機序について: 鈴木 隆(松本歯学,
8: 145-146)

歯科基礎医学会総会(第24回)昭和57年9月
ハムスター顎下神経節細胞に発現する緩徐律動性
膜電位変化: 鈴木 隆(歯基礎誌, 24: 抄録集112)

歯科基礎医学会総会(第24回)昭和57年9月
ハムスター顎下神経節細胞にみられる律動性過分
極電位の発現機序について: 鈴木 隆(歯基礎誌,
24: 抄録集113)

歯科基礎医学会総会(第24回)昭和57年9月
ウサギ葉状乳頭の Ca^{2+} -or Mg^{2+} -ATPase: 平川
良勝, 野村浩道(歯基礎誌, 24: 抄録集289)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年12月
ハムスター顎下神経節細胞にみられる緩徐律動性
膜電位変化の特徴について: 鈴木 隆(松本歯学,
8: 253-254)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年12月
ハムスター顎下神経節にみられる緩徐律動性膜電

位変化の発生機序について: 鈴木 隆(松本歯学,
8: 254-255)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年12月
カエル口腔領域への触, 化学刺激に対する頭部諸
筋の誘発筋電位: 熊井敏夫, 野村浩道(松本歯学,
8: 255)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年12月
ウサギ葉状乳頭のアデニレートシクラーゼ及びグ
アニレートシクラーゼ活性: 野村浩道, 浅沼直和,
平川良勝(松本歯学, 8: 255-256)

口腔生化学教室

日本解剖学会総会(第87回)昭和57年4月
免疫組織化学によるラット唾液腺 DPP IV の局在
について: 佐原紀行, 深沢勝彦, 鈴木和夫(解剖
学雑誌, 57(4): 249, 1982)

日本解剖学会中部地方会(第42回)昭和57年9
月
消化器系における DPP IV の局在とその働きにつ
いて: 佐原紀行, 深沢勝彦, 鈴木和夫(解剖学雜
誌, 58(2): 102, 1982)

日本口腔外科学会(第27回)昭和57年9月
上顎扁平上皮癌より分離株化した細胞の酵素偏倚
について: 小松正隆, 中島和敏, 山岡 稔, 待田
順治, 深沢勝彦, 原田 実, 浦出雅裕, 宮崎 正
(日口外誌, 28(3): 2278, 1982)

日本生化学会大会(第55回)昭和57年10月
ラット顎下腺の膜結合性と可溶性 Dipeptidyl pe-
ptidase IVの生合成について: 深沢加与子, 深沢
勝彦, 原田 実(生化学, 54(8): 551, 1982)

日本生化学会大会(第55回)昭和57年10月
Streptococcus mitis 中の Arg- β NA に特異的な
アリルアミダーゼ: 平岡行博, 深沢勝彦, 原田 実
(生化学, 54(8): 769, 1982)

日本生化学会大会(第55回)昭和57年10月
扁平上皮癌株化細胞の Gly-Pro-MCA 水解活性
について: 小松正隆, 深沢勝彦, 原田 実, 中島
和敏(生化学, 54(8): 895, 1982)

日本生化学会大会(第55回)昭和57年10月
ラット腎臓ジペプチジルペプチターゼIIの精製と
性質: 深沢勝彦, 深沢加与子, 平岡行博, 原田 実
(生化学, 54(8): 961, 1982)

歯科基礎医学会総会(第24回)昭和57年10月
歯髄アルカリホスファターゼの免疫化学的性質:

原田 実, 深沢勝彦, 平岡行博, 深沢加与子 (歯基礎誌, 24:抄録集221, 1982)

歯科基礎医学会総会 (第24回) 昭和57年10月
ラット顎下腺細胞の生後分化について: 佐原紀行, 鈴木和夫, 深沢勝彦 (歯基礎誌, 24:抄録集324, 1982)

松本歯科大学学会 (第14回) 昭和57年 6月
DPP IVの局在部位から考えられるその生体内機能について一電顕免疫組織化学的方法を用いて: 佐原紀行, 鈴木和夫, 深沢勝彦 (松本歯学, 8(1):143, 1982)

松本歯科大学学会 (第15回) 昭和57年11月
ラット顎下腺の Acinar cell の生後分化について: 佐原紀行, 鈴木和夫, 深沢勝彦 (松本歯学, 8(2):257, 1982)

口腔細菌学教室

日本細菌学会総会 (第55回) 昭和57年 4月
Heparinase 産生性 *Bacteroides* の細胞内酸性ムコ多糖体分解酵素の精製とその性状について: 谷口裕朗, 藤村節夫, 中村 武 (日細誌, 37(1):320, 1982)

日本細菌学会総会 (第55回) 昭和57年 4月
Bacterionema matruchotii の生物学的性状と bacteriocin 様 (Matrucin) 活性: 中村 武, 藤村節夫, 谷口裕朗 (日細誌, 37(1):368, 1982)

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年 6月
Bacteroides melaninogenicus のホスファターゼについて: 藤村節夫, 谷口裕朗, 金川直博, 中村武 (松本歯学, 8(1):142-143, 1982)

歯科基礎医学会総会 (第24回) 昭和57年10月
Bacteroides melaninogenicus の酸性, アルカリホスファターゼの精製と性状: 藤村節夫, 谷口裕朗, 中村 武 (歯基礎誌, 24(抄録集):157, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月
口腔内 *Propionibacterium acnes* の hyaluronidase の精製とその性状: 中村 武, 谷口裕朗, 竹内一紀, 藤村節夫 (松本歯学, 8(2):262)

口腔病理学教室

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年 6月
ヨードホルム・水酸化カルシウムペースト (糊剤根管充填剤ビタベックス) の組織埋入に関する実験的研究 (第8報) 石灰化基質の細胞化学的ならび

に分析電子顕微鏡的検索: 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 枝 重夫, 赤羽章司 (松本歯学, 8(1):146, 1982)

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年 6月
卵巣嚢腫の囊壁にみられた歯牙の病理組織学的ならびに電子顕微鏡的検索, 第2報: 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 川上敏行, 赤羽章司 (松本歯学, 8(1):146-147, 1982)

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年 6月
Ameloblastic fibroma の1症例: 植田章夫, 鹿毛俊孝, 北村 豊, 吉田潤一郎, 山西一郎, 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 赤羽章司 (松本歯学, 8(1):149-150, 1982)

日本口腔外科学会総会 (第27回) 昭和57年 9月
Ameloblastic fibroma の1症例: 植田章夫, 鹿毛俊孝, 北村 豊, 吉田潤一郎, 山西一郎, 川上敏行, 中村千仁, 河住 信 (日口外誌, 28(3):2233, 1982)

歯科基礎医学会総会 (第24回) 昭和57年10月
ヨードホルム・水酸化カルシウムペースト (ビタベックス) の組織埋入に関する実験的研究, 第3報: 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 枝重夫, 赤羽章司 (歯基礎誌, 24(抄録集):193, 1982)

歯科基礎医学会総会 (第24回) 昭和57年10月
卵巣嚢腫にみられた歯牙の電子顕微鏡的検索: 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 川上敏行, 枝重夫, 赤羽章司 (歯基礎誌, 24(抄録集):366, 1982)

日本口腔外科学会中部地方会 (第7回) 昭和57年10月

舌下腺に発生した単形性腺腫の1症例: 矢島幹人, 田村 稔, 峯村俊一, 山崎 正, 武田 進, 小谷 朗, 川上敏行, 枝 重夫 (日口外誌, 29(6):1161, 1983)

日本口腔外科学会中部地方会 (第7回) 昭和57年10月

小児の口蓋にみられた多形性腺腫の一症例: 有賀功, 伊藤恒生, 北村 豊, 鹿毛俊孝, 千野武広, 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁 (日口外誌, 29(6):1161, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月
高齢者の根管治療後の根端附近の治癒変化に関する臨床病理組織学的研究 (第2報): 川上敏行, 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 枝 重夫, 渡辺

郁馬 (松本歯学, 8(2): 248, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月
Epulis Osteofibromatosa Cementoplastica (セメント質形成性骨線維腫性エプーリス) の1症例: 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 植田章夫, 矢ヶ崎 崇, 伊藤恒夫, 北村 豊, 加藤倉三 (松本歯学, 8(2): 252—253, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月
Dentin-Pulp Complex (象牙質—歯髓複合体) の神経線維および神経様構造, 第1報: 林 俊子, 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 枝重夫 (松本歯学, 8(2): 258—259, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月
ラットにみられた自然発生乳腺原発腫瘍の1例, 第1報: 金子 至, 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 枝 重夫 (松本歯学, 8(2): 259—260, 1982)

歯科薬理学教室

日本口腔科学会総会 (第36回) 昭和57年5月
蛍光法による Cephalosporin 系抗生物質の定量法の検討: Cephaloridine と Cephalothin について: 北村 豊, 矢ヶ崎 崇, 米山 清, 鹿毛俊孝, 千野武広, 倉橋 寿 (日本口腔外科誌, 31(4): 705—706, 1982)

Third Southeast Asian and Western Pacific Regional Meeting of Pharmacologists 昭和57年5月
Pharmacological Studies of Stevioside: Kurahashi, H., Yamaguchi, Y. and Maehashi, H. (Abstract, 135)

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年6月
NaFによる心運動の抑制について: 服部敏己, 前橋 浩 (松本歯学, 8(1): 143—144, 1982)

日本薬理学会関東部会 (第67回) 昭和57年9月
心筋の収縮運動に対する NaF の作用: 服部敏己, 前橋 浩 (第67回関東部会講演要旨集, 6, 1982)

歯科基礎医学会総会 (第24回) 昭和57年10月
NaF の心筋収縮抑制作用: 服部敏己, 前橋 浩 (歯科基礎誌, 24 (抄録集): 299, 1982)

歯科基礎医学会総会 (第24回) 昭和57年10月
ヒ素の急性中毒における解毒剤について: 前橋浩, 山口由理子 (歯科基礎誌, 24 (抄録集): 300, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月
アミノピリンの作用と代謝物4アミノアンチピリンの定量: 倉橋 寿, 前橋 浩, 北村 豊, 山田哲男, 馬田研一, 鹿毛俊孝, 千野武広 (松本歯学, 8(2): 260—261, 1982)

日本薬理学会総会 (第56回) 昭和58年3月
ヒ素の急性中毒における解毒剤について (第2報): 山口由理子, 前橋 浩 (第56回日本薬理学会総会要旨集, 230, 1983)

歯科理工学教室

日本歯科理工学会学術講演会 (第1回) 昭和57年4月

ノンブリシラス陶材焼付合金の焼付境界に関する研究 (第1報) —市販合金について—: 伊藤充雄, 石井和生, 中田幸一, 高橋重雄 (第1回歯科理工学会抄録集, P.15)

日本歯科理工学会学術講演会 (第1回) 昭和57年4月

リン酸塩系埋没材に関する研究 (その7) —鑄造体表面あらさについて—: 杉江玄嗣, 宮沢てる子, 永沢 栄, 高橋重雄 (第1回歯科理工学会抄録集, P.22)

日本歯科理工学会北海道・東北, 関東, 中部3支部共催学術講演会 昭和57年10月

セミブリシラス合金の陶材焼付強さ: 高橋重雄, 中田幸一, 伊藤充雄 (歯科理工学会抄録集, P.22)

日本歯科理工学会北海道・東北, 関東, 中部3支部共催学術講演会 昭和57年10月

埋没材の加熱膨張に関する研究 (その3) —鑄造精度に対する埋没材加圧硬化の影響—: 永沢 栄 (歯科理工学会抄録集, P.33)

歯科保存学教室第I

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年6月
各種ブラッシング法における歯ブラシ線維の使用後の形態変化(2): 横地英男, 太田紀雄, 赤羽章司, 武者良憲 (松本歯学, 8(1): 151, 1982)

歯科保存学教室第II

日本歯科保存学会1982年度秋季学会 (第77回) 昭和57年10月

根管の清掃拡大について (第3報) 試作ダイヤモンドファイルの切削効果: 笠原悦男, 汲田 剛,

山本昭夫, 竹内博文, 坪島充男, 高橋健史, 安田英一

日本歯科保存学会1982年度秋季学会(77回)昭和57年10月

透明標本による根管形態の観察(第4報) —上顎大白歯における清掃拡大の到達性について—: 坪島充男, 汲田剛, 近藤高史, 高橋宏, 日原明人, 塚田洋, 笠原悦男, 安田英一

歯科補綴学教室第I

日本医学写真学会, 日本支部定例学会(第19回)昭和57年4月

石膏模型に写真乳剤封入による等高線モアレ縞直焼き法について(第II報): 橋本京一, 鷹股哲也, 倉沢郁文, 山岸三郎, 岡本雅寛(日本医学写真学会誌, 20(3): 116—117)

日本顎顔面補綴研究会総会(第22回)昭和57年5月

上顎前歯部の著しい歯列不正を伴った唇顎裂患者の1補綴例: 倉沢郁文, 鷹股哲也, 橋本京一, 待田順治, 小沢淳

日本顎顔面補綴研究会総会(第22回)昭和57年5月

開口度の小さい患者に対する口腔内印象用個人トレー作製についての一考案: 川崎祐嗣, 橋本京一

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年11月
実質欠損の著しい顎堤を含む部分的歯牙欠損患者にSwing Lock Attachment応用のパーシャルデンチャーを製作した一症例: 林春二, 倉沢郁文, 鷹股哲也, 橋本京一, 団勝浩, 田村利政, 矢ヶ崎崇(松本歯学, 8(2): 251, 1982)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年11月
口唇口蓋裂患者に施した骨移植の2例について: 井手口英章, 林清広, 島田仁史, 鷹股哲也, 戸刈惇毅, 小沢正道(松本歯学, 8(2): 251—252, 1982)

口腔外科学教室第I

日本口腔科学会総会(第36回)昭和57年度5月
蛍光法によるCephalosporin系抗成物質の定量法の検討—CephaloridineとCephalothinについて—北村豊, 矢ヶ崎崇, 米山清志, 鹿毛俊孝, 千野武広, 倉橋寿(口科誌, 31(4): 705—706, 1982)

松本歯科大学学会例会(第14回)昭和57年6月
Ameloblastic Fibromaの1症例: 植田章夫, 鹿毛俊孝, 北村豊, 吉田潤一郎, 山西一郎, 川上敏行, 中村千仁, 河住信, 赤羽章司(松本歯学, 8(1): 149—150, 1982)

日本口腔外科学会総会(第27回)昭和57年9月
Ameloblastic Fibromaの1症例: 植田章夫, 鹿毛俊孝, 北村豊, 吉田潤一郎, 山西一郎, 川上敏行, 中村千仁, 河住信(日口外誌, 28(13): 22—33, 1982)

日本口腔外科学会中部地方会(第7回)昭和57年10月

小児の口蓋にみられた多形性腺腫の1症例: 有賀功, 伊藤恒生, 北村豊, 鹿毛俊孝, 千野武広, 長谷川博雅, 河住信, 中村千仁

Thirty Annual Meeting of The Japanese Association For Dental Research.

December, 1982. Experimental production of lingual tumor by jet injection of 9, 10-Dimethyl 1, 2-benzanthracene. : T. Chino, Y. Sano, T. Kage and A. Ueda

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年11月
Fpulis Osteofibromatosa Cementoplastica(セメント質形成性骨線維腫性エプーリス)の1症例: 長谷川博雅, 河住信, 中村千仁, 川上敏行, 植田章夫, 矢ヶ崎崇, 伊藤恒生, 北村豊, 加藤倉三(松本歯学, 8(2): 252—253, 1982)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年11月
Solitary Bone Cystの1症例: 米山清志, 鹿毛俊孝, 有賀功, 山西一郎, 河住信, 長谷川博雅(松本歯学, 8(2): 253, 1982)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年11月
アミノピリンの作用と代謝物チアミノンチピリンの定量: 倉橋寿, 前橋浩, 北村豊, 山田哲男, 馬田研一, 鹿毛俊孝, 千野武広(松本歯学, 8(2): 260—261, 1982)

口腔外科学教室第II

日本形成外科学会信州地方会(第4回)昭和57年4月

口腔領域における凍結乾燥豚皮の使用経験: 島田仁史, 山崎安一, 清水文夫, 中島和敏, 山岡稔, 待田順治

日本口腔科学会総会(第36回)昭和57年5月

Silver's syndrome の 1 例(顎顔面形態の特徴について)：林 清広, 井手口英章, 山岡 稔, 待田順治, 出口敏雄(日口科誌, 31(4) : 597—598, 1982)

松本歯科大学学会総会(第14回)昭和57年6月
外胚葉異形成症の 1 症例：林 清広, 山岡 稔, 古沢清文(松本歯学, 8(1) : 154, 1982)

日本口腔外科学会総会(第27回)昭和57年9月
上顎扁平上皮癌の株化細胞の樹立とその性質について：小松正隆, 井手口英章, 待田順治(日口外誌, 28(13) : 120, 1982)

日本口腔外科学会総会(第27回)昭和57年10月
上顎扁平上皮癌より分離株化した細胞の酵素偏倚について：小松正隆, 中島和敏, 山岡 稔, 待田順治, 深沢勝彦, 原田 実, 浦出雅裕, 宮崎 正(日口外誌, 28(13) : 120—121, 1982)

日本口腔外科学会総会(第27回)昭和57年10月
創暫間被覆材としての凍結乾燥豚皮の使用経験：島田仁史, 山崎安一, 中島和敏, 伊地知 明, 林清広, 中村不二, 山岡 稔, 待田順治(日口外誌, 28(13) : 94—95, 1982)

日本形成外科学会信州地方会(第5回)昭和57年10月

下顎前突症の外科的矯正：井手口英章, 山崎安一, 中島和敏, 待田順治

日本生化学会(第55回)昭和57年10月
扁平上皮癌株化細胞の Gly-Pro-McA 水解活性について：小松正隆, 深沢勝彦, 原田 実, 中島和敏(生化学, 54(8) : 895, 1982)

松本歯科大学学会例会(第15回)昭和57年11月
口唇口蓋裂患者に施した骨移植の 2 例について：井手口英章, 林 清広, 島田仁史, 鷹股哲也, 戸苅惇毅, 小沢正道(松本歯学, 8(2) : 251—252, 1982)

歯科矯正学教室

日本口腔科学会総会(第36回)昭和57年5月
口唇・口蓋裂患者の歯列矯正治療例—簡単なものから困難な症例まで—：戸苅惇毅, 松田泰明, 吉川仁育, 出口敏雄(口科誌, 31(4) : 602, 1982)

日本口腔科学会総会(第36回)昭和57年5月
外科矯正の診断について—ANB difference の補正方法—：松田泰明, 荒川康夫, 出口敏雄(口科誌, 31(4) : 592, 1982)

近畿東海矯正歯科学会学術大会(第24回)昭和

57年6月

骨格性反対咬合の 1 治療例—思春期性 growth spurt 期に chin cap を使用した症例—：小沢正道, 出口敏雄

近畿東海矯正歯科学会学術大会(第24回)昭和57年6月

骨格性反対咬合の 1 治療例—患者の協力が得られなかったもの—：寺町好平, 出口敏雄

近畿東海矯正歯科学会学術大会(第24回)昭和57年6月

Functional Class III における Activator の限界について：吉川仁育, 水本恭史, 松田泰明, 出口敏雄(近東歯誌, 17(1) : 114, 1982)

松本歯科大学学会例会(第14回)昭和57年6月
“Super Bond”の歯科矯正臨床への応用：駿河充城, 戸苅惇毅, 出口敏雄(松本歯学, 8(1) : 152, 1982)

松本歯科大学学会例会(第14回)昭和57年6月
機能性反対咬合に使用する FKO の効果：水本恭史, 吉川仁育, 松田泰明, 出口敏雄(松本歯学, 8(1) : 152—153, 1982)

日本矯正歯科学会学術大会(第41回)昭和57年9月

SN-FH および ANB 値の補正に関する臨床的考察：出口敏雄, 荒井康夫(日矯歯誌, 41(4) : 772, 1982)

日本矯正歯科学会学術大会(第41回)昭和57年9月

Indiana Cephalometric Analysis の紹介：丹羽敏勝, 小沢正道, 出口敏雄(日矯歯誌, 41(4) : 780, 1982)

日本矯正歯科学会学術大会(第41回)昭和57年9月

Developmental age を決定する 5 要素について：小沢正道, 出口敏雄(日矯歯誌, 41(4) : 780—781, 1982)

日本矯正歯科学会学術大会(第41回)昭和57年9月

Corticotomy と Protraction chin cap 併用による上顎骨前方牽引に関する実験的研究：松田泰明(日矯歯誌, 41(4) : 805, 1982)

日本矯正歯科学会学術大会(第41回)昭和57年9月

日本人へのオクルゾグラムの応用(Maxillary

ideal arch の設定法) : 寺町好平 (日矯歯誌, 41 (4) : 790-791, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月 顔面成長と下顎頭形態との関係に関する X 線学的研究, 第1報 skeletal I, skeletal II, skeletal III の成人について : 丹羽敏勝, 小沢正道, 寺町好平, 戸刈惇毅, 長内 剛, 加藤倉三 (松本歯学, 8 (2) : 250, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月 歯科矯正治療における顎関節に関する X 線学的研究, 第1報診断への Schüller 法の利用 : 吉川仁育, 出口敏雄 (松本歯学, 8 (2) : 250-251, 1982)

近畿東海矯正歯科学会例会 (第6回) 昭和57年12月

当教室における矯正治療結果に対する評価方法 : 水本恭史, 吉川仁育, 丹羽敏勝, 荒井康夫, 小沢正道, 寺町好平, 松田泰明, 戸刈惇毅, 出口敏雄
顎変形症研究会 (第2回) 昭和58年3月
外科矯正の判定基準となる ANB angle の評価について—Wits appraisal, N vertical, Steiner analysis— : 小沢正道, 水本恭史, 松田泰明, 出口敏雄

顎変形症研究会 (第2回) 昭和58年3月
顔面形態と下顎頭形態との関係に関する X 線学的考察—成人の骨格性下顎前突および上顎前突について— : 丹羽敏勝, 吉川仁育, 小沢正道, 寺町好平, 松田泰明, 戸刈惇毅, 出口敏雄

顎変形症研究会 (第2回) 昭和58年3月
外科矯正診断へのオクルゾグラムの利用法について : 寺町好平, 出口敏雄

歯科放射線学教室

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月 顔面成長と下顎頭形態との関係に関する X 線学的研究 (第1報) skeletal I, skeletal II, skeletal III の成人について : 丹羽敏勝, 小沢正道, 寺町好平, 松田泰明, 戸刈惇毅, 出口敏雄, 長内 剛, 加藤倉三 (松本歯学, 8 (2) : 250, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月 Epulis Osteofibromatosa Cementoplastica (セメント質形成性骨線維腫性エプーリス) の1症例 : 長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 川上敏行, 植田章夫, 矢ヶ崎 崇, 伊藤恒夫, 北村 豊, 加藤倉三 (松本歯学, 8 (2) : 252, 1982)

小児歯科学教室

日本小児歯科学会 (第20回) 昭和57年5月 全身麻酔下集中治療と「歯の健康管理」—6年間700例の経験から— : 井戸菊夫, 太宰徳夫, 佐藤秀明, 小早川秀雄, 山内孝文, 副島之彦, 今西孝博, 笠原 浩

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年6月 全身麻酔下集中治療と「歯の健康管理」—6年間700例の経験から— : 井戸菊夫, 太宰徳夫, 佐藤秀明, 小早川秀雄, 山内孝文, 副島之彦, 今西孝博, 笠原 浩 (松本歯学, 8 (1) : 151, 1982)

松本歯科大学学会例会 (第14回) 昭和57年1月 HB キャリアの歯科治療経験 : 小早川秀雄, 井戸菊夫, 太宰徳夫, 佐藤秀明, 今西孝博, 笠原 浩 (松本歯学 8 (1) : 150, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月 学生実習における保健指導 (1) : 山内孝文, 太宰徳夫, 小早川秀雄, 今西孝博, 笠原 浩 (松本歯学 8 (2) : 248, 1982)

松本歯科大学学会総会 (第15回) 昭和57年11月 障害者施設での巡回歯科診療第1報 : 副島之彦, 太宰徳夫, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 山内孝文, 今西孝博, 松田厚子, 伊沢正彦, 笠原 浩 (松本歯学, 8 (2) : 249, 1982)

障害者歯科学教室

International Congress of the Dentistry for the Handicapped (6th). July, 1982. Tronto, Canada. Dental care for children with heart diseases. : Kasahara, H.

International Dental Congress on Modern Pain Control (3rd). Oct. 1982. Tokyo, Japan. Pain Control in Pedodontics. : Kasahara, H.

International Dental Congress on Modern Pain Control (3rd). Oct. 1982. Tokyo, Japan. "Painless" Local Anesthesia for Children. : Dazai, N., Imanishi, T., Kasahara, H.

日本障害者歯科医療研究会総会 (第10回) 昭和57年10月

障害者施設での巡回歯科診療 (第1報) : 副島之彦, 太宰徳夫, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 山内孝文, 今西孝博, 松田厚子, 伊沢正彦, 笠原 浩

日本小児歯科学会総会 (第20回) 昭和57年5月 全身麻酔下集中治療と「歯の健康管理」—6年間

700例の経験から一：井戸菊夫，太宰徳夫，佐藤秀明，小早川秀雄，山内孝文，副島之彦，笠原 浩，今西孝博

日本小児歯科学会総会（第20回）昭和57年5月
心身障害児の歯科的取扱い法に関する研究：葛島起子，高木伸子，足立 守，福田 理，渡辺達夫，西岡喜嗣，黒須一夫

日本小児歯科学会総会（第20回）昭和57年5月
水酸カルシウム糊剤による生活歯髓切断法の子後観察（第2報）：村田格一，内田誠子，杉山乗也，保沢 静，佐々公人，渡辺達夫，柴田輝人，黒須一夫

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
HBキャリアの歯科治療経験：小早川秀雄，井戸菊夫，佐藤秀明，今西孝博，笠原 浩

松本歯科大学学会総会（第15回）昭和57年11月
学生実習における保健指導（1）：山内孝文，太宰徳夫，井戸菊夫，小早川秀雄，今西孝博，笠原 浩

陶材センター

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
Micro-Color-Computerによる口唇並びに皮膚色彩測定の考案：橋口緯徳，神津 英，伊比 篤（松本歯学，8(1)：148，1982）

日本歯科技工士学会大会（第4回）昭和57年8月
積分球診療室の光学的研究 第6報 技工室の光学的改善：坂口賢司，谷内秀寿，伊比 篤，橋口緯徳（第4回大会講演抄録，54，1982）

松本歯科大学学会総会（第15回）昭和57年11月
Caries Activityに関する統計的観察：吉川満理子，長野朱実，山本真也，横山幸代，伊比 篤，橋口緯徳（松本歯学，8(2)：246，1982）

松本歯科大学学会総会（第15回）昭和57年11月
口唇並びに皮膚の色彩に関する統計的観察：伊比 篤，神津 英，橋口緯徳（松本歯学，8(2)：247—248，1982）

電子顕微鏡室

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
ヨードホルム・水酸化カルシウムパスタ（糊剤根管充填材ビタベックス）の組織埋入に関する実験的研究（第8報）石灰化基質の細胞化学的ならびに分析電子顕微鏡的検索：川上敏行，中村千仁，

河住 信，長谷川博雅，枝 重夫，赤羽章司（松本歯学，8(1)：146，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
卵巣嚢腫の嚢壁にみられた歯牙の病理組織学的ならびに電子顕微鏡的検索 第2報：中村千仁，河住 信，長谷川博雅，川上敏行，赤羽章司（松本歯学，8(1)：146—147，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
Ameloblastic fibromaの1症例：植田章夫，鹿毛俊孝，北村 豊，吉田潤一郎，山西一郎，川上敏行，中村千仁，河住 信，赤羽章司（松本歯学，8(1)：149—150，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
各種ブラッシング法における歯ブラシ線維の使用後の形態変化について(2)：横地英男，太田紀雄，赤羽章司，武者良憲（松本歯学，8(1)：151—152，1982）

歯科基礎医学会総会（第24回）昭和57年10月
ヨードホルム・水酸化カルシウムパスタ（ビタベックス）の組織埋入に関する実験的研究，第3報：川上敏行，中村千仁，河住 信，長谷川博雅，枝重夫，赤羽章司（歯基礎誌，24(抄録集)：193，1982）

歯科基礎医学会総会（第24回）昭和57年10月
卵巣嚢腫にみられた歯牙の電子顕微鏡的検索：中村千仁，河住 信，長谷川博雅，川上敏行，枝重夫，赤羽章司（歯基礎誌，24(抄録集)：366，1982）

松本歯科大学学会例会（第15回）昭和57年11月
神経伝達阻害時における筋紡錘の電顕的研究：青木京子，川原一祐，赤羽章司（松本歯学，8(2)：258，1982）

中央写真室

日本医学写真学会東日本支部定例会（第19回）昭和57年4月

石膏模型に写真乳剤封入による等高線モアレ縞直焼き法について（第II報）：橋本京一，鷹股哲也，倉沢郁文，山岸三郎，岡本雅寛（日本医学写真学会誌，20(3)：116—117，1982）

松本歯科大学学会例会（第14回）昭和57年6月
ミニコピーフィルムHR-IIに対する最大エネルギー現象液D-82の現像効果について：山岸三郎，岡本雅寛（松本歯学，8(1)：148—149，1982）

衛生学院

日本歯科技工士学会大会(第4回)昭和57年7月

歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第7報 技術能力と一般適性検査の比較:谷内秀寿, 宮川 崇, 坂口賢司, 橋口緯徳(第4回大会講演抄録, 43, 1982)

日本歯科技工士学会大会(第4回)昭和57年8月

積分球診療室の光学的研究 第6報 技工室の光学的改善:坂口賢司, 谷内秀寿, 伊比 篤, 橋口緯徳(第4回大会講演抄録, 54, 1982)

松本歯科大学学会総会(第15回)昭和57年11月
歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第8報 CPIとYG性格検査の年度的推移(1):小林美樹, 清水みや子, 宮川 崇, 丸山寛子, 谷内秀寿, 坂口賢司, 橋口緯徳(松本歯学, 8(2):246-247, 1982)

その他の記録

口腔病理学教室

[特別講演]象牙質・歯髄の増齢の変化:枝 重夫, 第3回日本歯内療法協会大会, 昭和57年6月13日, 於:経団連会館, 東京.

[パネルディスカッション]歯内療法におけるペインコントロールについて:枝 重夫, 第3回日本歯内療法協会大会, 昭和57年6月13日, 於:経団連会館, 東京.

口腔外科学教室II

Junji Machida (International Abstracter,

Cleft Palate Journal): Abstracting Japanese articles on cleft lip/palate and related matters for the Cleft Palate Journal as appeared on pages 236, 237, 288, 289, 290, 291, 292, 293 and 295, Volume 19, 1982.

待田順治:口唇裂・口蓋裂関係論文一覽. 日本口蓋裂学会雑誌, 7(1):104-106, 7(2):264-271, 1982.

中央写真室

[講演]現代の歯科医療における医学写真の理論と実際:岡本雅寛, 長野市歯科医師会, 昭和57年8月11日, 25日, 於:長野市歯科医師会館.

昭和57年度文部省科学研究費補助金による研究

宮崎 正, 小浜源郎, 手島貞一, 大橋 靖, 道健一, 高橋庄二郎, 河合 幹, 待田順治, 筒井英夫, 下里常弘, 田代英雄, 田縁 昭(口腔外科II):日本に於ける口蓋裂の発現現況とその治療の実態に関する研究(総合研究A)

深沢加与子(口腔生化):唾液腺 acinar cellの細胞膜結合タンパク質の生合成に関する研究

中村 武(口腔細菌):歯周病における組織破壊の細菌学的・免疫学的研究(総合A, 代表 高添一郎)

中村 武(口腔細菌):口腔内 Propionibacterium acnesの病原的屬性

中村 武(口腔細菌):hyaluronidaseの精製とその性状(分担課題)